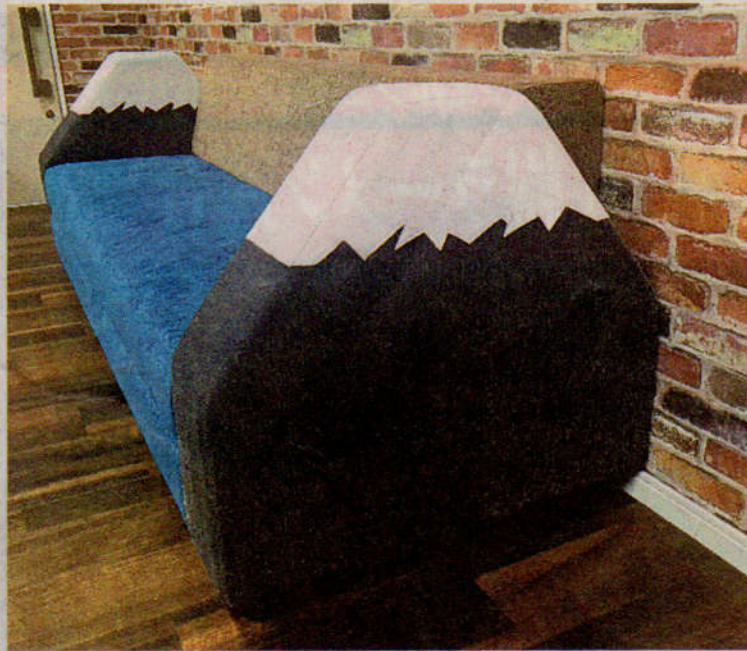


富士に腰掛け 登頂気分



肘掛け部分が富士山の形になっているソファ。東京五輪の開催に向けて製品化した

名原がソファ 訪日客に照準

椅子製造販売の名原（大月市富浜町鳥沢、名原章朗社長）は、肘掛け部分を富士山型にしたソファを製品化した。訪日外国人の増加が見込まれている2020年の東京五輪開催に合わせた商品で、11月に発売予定。今後空港やホテルなどに販路を確保し、多くの外国人に親しんでもらいたい考えだ。

ソファ全体の幅は2・2メートルで、両側に雪化粧の富士山をデザイン。座る部分は富士五湖と駿河湾をイメージし濃い青色にした。生地はポリエステルなどで、クッション材はウレタンのチップ、骨組みは木製。受注後に作るため、要望に応じて大きさや形を調整できる。

椅子製造販売の名原（大月市富浜町鳥沢、名原章朗社長）は、「東京五輪に向けて売り出せる商品を作ろう」と企画した。空港やホテル、テーマパークなどを販路に見込み、今後協力企業を通じて商談を本格化させる。販売価格は12〜13万円を想定。山梨と静岡の富士山に加え、他県の名物を同様に肘掛け部分にかたどったソファも製品化し、シリーズ展開することを考えているという。

問い合わせは名原、電話0554（26）5539。

〈宇賀神将樹〉